

設計趣意書

(作品名 : Chocolate House ～中庭玄関のある住まい～)

○ 敷地の特性

南側に2Mの擁壁、道路との高低差、間口方向の短い長方形の敷地は、日当たりや風通しは決して好条件ではない。一方でそれは都市の造成地にはよくある敷地形状であり、日当たり確保を優先し2階を家族の寛ぐリビングとして配置する計画が昨今の流行になっている。しかし、本計画はあくまで接地性を生かすことにこだわった。中庭へ入ってから我が家を感じて建物に入る動線計画は、都市型の間口の狭い敷地でも住み手が「**住まい全体を楽しむ**」**住まいづくり**を実現する設計者の一つの解答である。

○ 空間づくりのポイント

- 1) 建物を変形コの字に配置し南側の建物を1階に抑え、吹抜けを介することで北側のリビングや寝室の日当たりと風通しを確保
- 2) 廊下やリビングの斜め壁は狭く感じさせない工夫、玄関ホールの小さな吹抜けは、上下階の繋がりや広がり演出
- 3) リビングと和室は常に中庭の緑を感じられ、離れていても家族の気配を感じられる配置

○ 住まいのテーマ「こどもが中と外を走り回れる家」

下記の5点を重視し、こどもとの暮らしを楽しむ住まいを提案

- 1) **家族の気配が常に感じられる工夫**
こどもの将来の勉強部屋、寝室2は吹抜けを介しリビングと空間が一つになり
こどもも親も安心
- 2) **住まいの内外の行き来のしやすさ**
玄関のアプローチは、幼児でも縁側から庭に出られるような段差
- 3) **こどもが自立した生活者になれる**
手元の見えるキッチン、回遊性を持たせ、家事の参加しやすさを促す
- 4) **季節感を育む、自然を楽しむ空間**
庭、和室、テラスと、それぞれの場所を季節で活用
- 5) **地域に開かれた住まい**
中庭アプローチ、玄関より手前にあるリビングの縁側は、近所の立ち話や交流の場所であり、こども達が気軽に声をかけられる場所

○ 施工上の特徴

200年住宅先導的モデル事業「全建連(地域木造優良)住宅」構造材国産材100%
設計住宅性能評価書の受領(耐震等級2、劣化等級3、維持管理等級3、省エネルギー等級4)

アピールポイント (配慮した点)

■ 環境との調和

当該地は藤沢市の土地区画整理事業の一画である。保留地の現況図には「こども広場」とあり、地形図から造成前は緩やかな傾斜地の広場だったことが分かる。敷地にその面影はないが、こども達が豊かな緑の木陰で楽しく過ごした場所かもしれない。地域への恩返しとして、森のような木の外観の住まいが良いと考え、サブテーマは「**風景をつくる住まい**」とした。モダンでありながら和の要素があり日本の住まいの懐かしさと、これからの未来にも違和感のないデザインを目指した。総杉板張りは昔からある外壁であるが、本建物は現代の技術を持って大臣認定の防火構造であり通気工法、次世代省エネルギー基準の断熱性を持つ機能性の高い住まいである。